

## 第2回文化財ワーキンググループにおける議論について

### 1. 文化財保護の裾野を拡げる方策について（資料5－2）

これまで、指定、登録及び記録選択等の制度を設け保護の措置を講じてきたところである。

今後、有形文化財、無形文化財を通じて、文化財の種別・性質等に応じ、文化財としての保護対象の範囲や文化財の周辺環境を含めた保護の措置について、どのような方策が考えられるか。

### 2. 社会全体で文化財を継承していくための取組について

#### （1）公開・活用の在り方について（資料5－3）

社会全体で文化財を継承して行くためには、文化財に対する理解増進が必要であり、文化財の公開・活用を一層進める取組としてどのようなことが考えられるか。

また、観光振興、地域振興、経済振興等の視点での文化財の公開・活用の推進も必要ではあるが、一方で、文化財の適切な保存、次世代への適切な継承とのバランスを取ることも重要であり、その際どのような点に留意すべきか。

#### （2）社会全体で文化財を支える仕組みについて（資料5－4）

NPO等の関わりも含め、どのようにして文化財に対する理解増進を図るか。また、その際、寄附や地方自治体における基金等も含め、様々な手法を組み合わせて、社会全体で文化財を支える仕組みをつくることについて、どのような方策が考えられるか。